

効果的な訓練手法

【取組事例】

RESCUE ネットワーク OSAKA

☆ 経緯

平成 23 年に発生した東日本大震災での緊急消防援助隊大阪府隊の活動を振り返り、大阪府下消防本部間における「顔の見える環境づくり」の重要性を痛感することとなった。

その課題を改善すべく、災害現場に関する情報提供や事例研究の発表の場として、平成 25 年 1 2 月に大阪府下全消防本部が参加する「RESCUE ネットワーク OSAKA」が大阪市消防局で開催された。

その後、平成 26 年には大阪府下消防長会 警防救急委員会事業として、事業内容をさらに充実させ合同訓練の実施などを加えた設置要綱を制定し、組織として本格運用が開始された。

☆ 目的

大阪府域の救助業務について大阪府下の消防本部が共同して研究等を行い、救助活動能力の充実を図るとともに、広域災害での連携を一層強化すること。

☆ 事業

- (1) 救助技術の交流及び新たな救助技術の交流
- (2) 救助隊の合同訓練、大阪府下救助シンポジウム等の実施
- (3) その他レスキューネットワークの目的を達成するために必要な事業

☆ これまでの開催内容

開催	内容
第 1 回 (H25)	◎シンポジウム 【テーマ】「大阪府下消防本部の連携強化のあり方について」 災害現場に関する情報提供や事例研究の発表、また意見交換形式の総合ディスカッションにおいて、連携のあり方、今後の進め方などを検討
第 2 回 (H26)	◎シンポジウム 【テーマ】「救助事案検討」 災害現場に関する情報提供や事例研究の発表を実施。グループ討議の中で、全府下本部合同訓練の開催など、さらなる発展を求める意見が多く出される。
第 3 回 (H27)	◎シンポジウム 【テーマ】 「救助事案検討」又は、「若年層職員への技術伝承等について」 ◎合同訓練 ➤ ブリーチング・ショアリング ➤ 土砂埋没救助活動
第 4 回 (H28)	◎シンポジウム 【テーマ】「府下連携救助活動」 ◎合同訓練 ➤ 閉鎖空間における救出要領 (CSR) ➤ 土砂埋没救助技術

<p>第5回 (H29)</p>	<p>◎シンポジウム 【テーマ】「ヒヤリハット事例と安全対策について」 ◎合同訓練 ➢ 重量物の持ち上げ・移動・安定化（クリビング・ムービング技術） ➢ 土砂埋没救助技術</p>
<p>第6回 (H30)</p>	<p>◎シンポジウム 【テーマ】 「頻発する自然災害を踏まえ、各消防本部が直面する喫緊の課題」 ◎合同訓練 ➢ 重量物の持ち上げ・移動・安定化（クリビング・ムービング技術） ➢ 土砂埋没救助技術 ◎情報共有ツール試行運用 府下各本部の年間の訓練、研修の見学、参加の可否や特異災害等の事例の概要を公開し、各本部職員がより多く学べる機会を得るための取り組み。</p>
<p>第7回 (R1)</p>	<p>◎シンポジウム（R1.12.13実施予定） 【テーマ】「多発する自然災害への救助活動能力向上を目指して」 ◎合同訓練 ➢ 閉鎖空間における救出要領（CSR） ➢ 土砂埋没救助技術 ◎ 情報共有ツール試行運用中 府下各本部の年間の訓練、研修の見学、参加の可否を公開</p>

☆ 令和元年度10月4日（金）～10月10日（木）に実施した合同訓練状況

